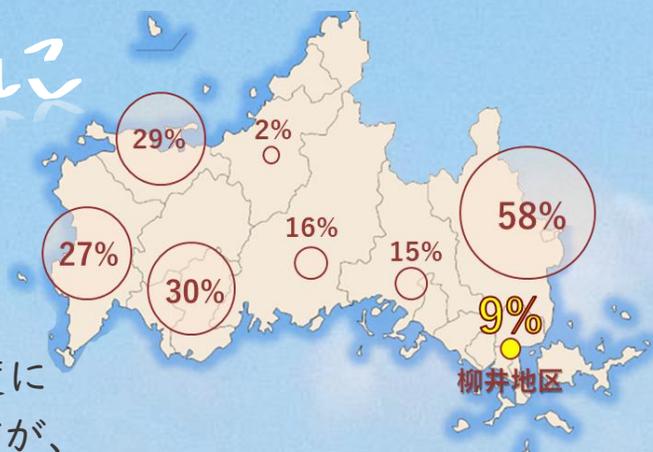


ICT活用工事に 挑戦しよう!



ICT活用工事については、令和7年度に発注者指定型の導入も予定されていますが、令和4年度の柳井土木建築事務所管内の実施率は、1割に満たない状況です。

令和4年度のICT活用工事実施率
=実施件数/発注件数

このため、当事務所では、建設現場での生産性の向上につながる建設DXの取組の一環として、ICT活用工事の普及・促進に向けたチャレンジプロジェクトをスタートします!

令和5~6年度

ICT活用工事チャレンジプロジェクト

1 発注者指定型の試行版の導入

令和5年度から発注者指定型の試行版「**私たちはできる型**」を導入します!

令和5年度は、土工（掘削や盛土）を対象として、3件の発注を予定しています。

2 発注者のサポート

県庁技術管理課が主催する建設維新ICT相談会を活用してもらうなど、発注者が皆さんを**サポート**します!

3 見学会の開催

対象工事において、**管内業者向けの見学会（勉強会）**の開催を予定していますので、ご協力をお願いします。

実際に経験した方の生の声を皆さんに届けます!

詳しい情報は裏面へ

1

ICT活用工事の動向

山口県では、平成29年7月からICT活用工事（土工）の試行運用を開始しました。その後、対象工種が舗装工や法面工などに拡大し、令和4年10月には小規模土工への適用も開始しました。

また、令和7年度には発注者指定型の導入が予定されています。（山口県建設DX推進計画；令和5年2月公表）



H29～

受注者
希望型

R5～

私たちは
できる型

R7～

発注者
指定型

2

「私たちはできる型」と発注者のサポート

「私たちはできる型」では、全ての工程（①～⑤）においてICT施工技術を活用することを原則とします。特に、②3次元設計データ作成については、可能な限り内製化（受注者自らが作成）することとします。

なお、実施にあたっては、建設維新ICT相談会（無料）を活用していただくことで、現場条件に対する最適なICT活用手法や機器選定、施工途中段階で生じる課題に対する解決の提示等の技術支援を受けることができます。

ICT活用工事の工程

- ① 3次元起工測量
- ② 3次元設計データ作成
- ③ ICT建設機械による施工
- ④ 3次元出来形管理等の施工管理
- ⑤ 3次元データの納品



相談会の様子

3

ICT活用工事に関するさまざまな声

ICT建設機械を購入したのでどんどん実施したい（岩国地域）

ICT活用工事ができないと取り残されてしまう（岩国地域）

3次元測量と設計データ作成費をもらわなくても黒字になっている（周南地域）

丁張をしなくて良いので危ない仕事が減った（防府地域）

ICT活用工事に取り組んでいる業者の中から就職先を検討したい（学生）

河川土砂撤去工は全て発注者指定型で実施している（他自治体）

山口県土木建築部のSNS

Facebook



Instagram



YouTube

